

令和2年度宇治市公共下水道事業懇話会（第1回） 会議録（概要版）

日時	令和2年6月23日（火） 14時～15時15分
場所	市役所8階大会議室
出席委員	山田（淳）委員、山田（秀）委員、吉田委員、小山委員、居原田委員、伊庭委員、池本委員
事務局	秋元上下水道部長、山田上下水道部副部長（兼）水道総務課長、横山上下水道部技術参事（兼）下水道建設課長、蒲原下水道計画課長、横山下水道管理課長、公文水管理センター場長、飯田雨水対策課長、辻村下水道計画課副課長（兼）庶務係長、重谷下水道計画課計画係長、乾下水道計画課主任、阿部下水道計画課技師
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・会長互選 ・議題 <p>(1) 宇治市公共下水道の概要と今後の課題について</p> <p>(2) 宇治市公共下水道整備計画（後期計画）の進捗状況について</p> <p>(3) 経営戦略の策定について</p> <p>(4) その他</p>
傍聴者	2名

〈会議経過及び内容〉

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 会長互選
4. 会長あいさつ
5. 議事

- (1) 宇治市公共下水道の概要と今後の課題について

事務局より、資料に基づき説明。

【主な意見等】

- 市内中小河川の水質基準である BOD (生物化学的酸素要求量) は単純平均値か。
⇒市内 10 河川を対象に各年 4 回計測した単純平均値となっている。
- BOD は小河川で高い傾向にあるのか、ないのか。
⇒小河川では平均の 3.2 mg/L よりは低い値となっている。
- 面整備の効果と高度処理化の効果は別と考える。
- BOD は 10 河川の平均数値で、窒素・リンは放流水質の数値か。
⇒そのとおり。

- 一般会計繰入金はいくらか。
⇒収益的収支の他会計補助金、資本的収支の他会計補助金、他会計出資金の合計で約 15 億円となっている。
- 基準内繰入金はいくらか。
⇒総務省に報告している決算統計では 15 億円中基準内が約 9 億円、基準外が約 6 億円となっている。
- 城南衛生管理組合の担当より、し尿は減っているとは聞いているが接続率向上の取り組みは。
⇒供用開始後の案内やシルバー人材センターに委託して普及の取り組みをしている。

(2) 宇治市公共下水道整備計画（後期計画）の進捗状況について
事務局より、資料に基づき説明。

【主な意見等】

- 雨水整備の目標は。
⇒10 年確率の雨（降雨強度 63.5mm/h）に耐えられること。

(3) 経営戦略の策定について
事務局より、資料に基づき説明。

【主な意見等】

- 公共事業であっても赤字決算では厳しく、真剣にしっかりと考える機会ととらえている。期待している。
- 期限的な制約はあるのか。
⇒総務省通知で令和 2 年度中の策定を要請されている。

(4) その他
事務局より説明。

【主な意見等】

- 公営企業として（1 つの審議会に）一本化することもいいが、他市で苦労されているのは、上水と下水でそれぞれ専門家に入ってもらっているが、別々の専門領域である。そこをどう統合するかといったところで一定の整理が必要だ。